

エルサルバドル政治経済月報 (2024 年 11 月)

2024 年 12 月
在エルサルバドル大使館

内政

1. 国家と民主主義に関する国際セミナーの開催（副大統領府 SNS）

(1) 11 月 26 日～27 日、ウジョア副大統領府は、サンサルバドル市近郊のイベント会場において「国家と民主主義に関する国際セミナー」を開催。ウジョア副大統領は、開会の辞にて 1,000 名以上の参加者を前に、治安、エルサルバドル経済の回復及び強化、保健やイノベーションのモデルの重要性等につき分析及び議論する重要な場である旨述べた。また、ブケレ政権は第一期に「治安の奇跡」を起こしたが、第二期政権では「経済の奇跡」を起こすとして、参加者を歓迎した。

(2) 本セミナーでは、治安改善、エルサルバドルの新たなビジネス環境、国家のデジタル化や技術、教育・保健及びガバナンスといったテーマを中心に、複数の現役閣僚による講演の他、他国からの参加者を含めたパネルディスカッションが行われた。

(3) 海外からの参加者には、マルタ・ルシア・ラミレス元コロンビア副大統領兼外務大臣、ラウル・ディエス・カンセコ元ペルー第一副大統領・通商大臣、シャルテン・ハト・キュラソー法務長官、カッティア・リベラ・ソト・コスタリカ議会議員、アルヴィーゼ・ペレス欧州議会議員、ミゲル・アンヘル・カニサレス元パナマ教育大臣、ルイス・ソラリ元ペルー保健大臣、マカレナ・オローナ元スペイン下院議員等がいた。

外交

1. 米大統領選に対するブケレ大統領の反応（大統領 SNS）

11月6日未明、ブケレ大統領は自身のXアカウントにて、「ドナルド・トランプ、米国次期大統領おめでとう、神の祝福と導きがありますように」と投稿。

2. ブケレ大統領のコスタリカ公式訪問（大統領/大統領府 SNS）

(1) 11 月 11 日及び 12 日、ブケレ大統領はコスタリカを公式訪問し、チャベス・コスタリカ大統領と会談、両国の安全と繁栄を保障するための両国によるイニシアティブ「Liga de naciones」を発表するとともに、観光、経済、文化、環境等の分野での二国間協力協定を締結。

(2) コスタリカ政府は、ブケレ大統領に「フアン・モラ・フェルナンデス国民勲章」（大十字金勲章 Gran Cruz Placa de Oro）を授与した。

(3) ブケレ大統領は、ラファエル・ハリケーンにより被害を受けたコスタリカへの緊急人道支援（300 人のレスキュー隊及び救急隊員、救助犬、400 トン以上の救助物資）を発表。

3. トランプ次期政権の閣僚指名に対する反応（11 月 13 日～21 日当地主要紙）

(1) マルコ・ルビオ上院議員の次期国務長官への指名（ディアリオ・エルサルバドル）

エルサルバドルは、マルコ・ルビオ次期国務長官にとって未知ではない。10 年以上前からエルサルバドルに関心を抱き、FMLN 政権による活動を調査するよう訴え、2016 年には FMLN 幹部のホセ・ルイス・メリーノ氏に対する激しい告発をした。2023 年 3 月にルビオ氏はエルサルバドルを訪問し、ブケレ大統領と面談した。SNS では、殺人件数の著しい低下を強調する動画が流れた他、ブケレ政権を罰するバイデン政権を批判した。同氏は、「中米のギャングや犯罪者との闘いを率いる民主的な指導者を支援することは重要である。我々の両国間の未来のため、エルサルバドルの民主的な機関が協力であることは不可欠である」と述べていた。

(2) マット・ゲーツ前下院議員（エルサルバドル・コーカス創設者）（ディアリオ・エルサルバドル）

11 月 19 日、マット・ゲーツ前下院議員は、ワシントンの国立公文書館において、米国とエルサルバドルの友好を強化するイベントを開催、2015 年 1 月 6 日からのトランプ次期政権において司法長官を務めるため、エルサルバドル・コーカスの議長を辞する旨明らかにした（注：その後、同議員は、次期司法長官への指名を辞退）。同発表の場には、カストロ議長、ウジョア副大統領、ソル住宅大臣（カストロ議長配偶者）、マヨルガ駐米エルサルバドル大使、アレクシア・リバス議員、スエシー・カジェハス議員他が出席した。

ゲーツ氏は、演説の中でブケレ大統領の指導力により治安が改善されたという西半球のみならず、世界の中でも類を見ないであろう変貌を遂げた点を称賛した。また、エルサルバドルの治安状況の改善により、国務省は旅行者に対する危険度を 3 から 2 に引き下げたことを強調した。

ゲーツ氏のコーカス議長辞任に伴い、アナ・パウリナ・ラナ共和党下院議員（フロリダ州）が議長を務めること、また、ビセンテ・ゴンサレス共和党議員（テキサス州）のコーカス参加も発表された。同イベントには、共和党のエリ・クレーン下院議員、ブランドン・ジル下院議員、マリア・エルビラ・サラサル下院議員も出席した。

4. 第 29 回イベロアメリカ・サミット（外務省プレスリリース）

11 月 12 日～15 日、エクアドルにて開催された第 29 回イベロアメリカ・サミット内で行われた第 15 回イベロアメリカ南南・三角協力報告書発表において、エルサルバドルは同協力を推し進めた 7 か国中の 1 つとして言及された。同発表に出席したデ・パルマ・エルサルバドル国際協力局（ESCO）局長は、同報告書はイベロアメリカ諸国における協力を進めて行くうえで価値あるツールであると述べた。

5. グアテマラとの短期雇用にかかる協力合意への署名（外務省プレスリリース）

11 月 13 日、ポルタル外務副大臣（在外ディアスポラ・短期雇用担当）、は、エスコベド・グアテマラ外務副大臣と両国間の短期雇用ビザに係る協力合意に署名した。ポルタル副大臣は、エルサルバドル人の短期雇用ビザによる国外における就労の先駆性に言及し、グアテマラとの合意により領事サービスや労働者の保護、帰国及び社会への再統合等について教訓を共有できると述べた。

経済

1. 韓国による太平洋鉄道計画 F/S 結果の提出（11 月 1 日付ディアリオ・エルサルバドル紙）

10 月 31 日、韓国国土交通部主導の下、韓国企業 8 社で構成されるコンソーシアムが太平洋鉄道計画第 2 区間（シティオ・デル・ニーニョ・サンサルバドル間）の F/S 結果を提出。ドン・ミョン（Dong Myeong）エンジニア・コンサルタントのプロジェクトマネージャーによると、提出された書類には、実現可能性を考慮した計画と社会経済調査が記載されているとの由。本調査は 106 キロの線路からなるアカフトラ・サンサルバドル港湾プロジェクトを補完するものとなる。現在、韓国はアカフトラ港・アチャドゥラ間についても、使用する列車タイプを決定するために旅客需要や貨物量も含めて調査を進めている。

2. IAEA ラテンアメリカ・カリブ部長の ESCO 訪問（11 月 2 日付ディアリオ・エルサルバドル紙）

(1) デ・パルマ ESCO 局長は、マレン・スカーレット・イフラウ IAEA ラテンアメリカ・カリブ部長の訪問を受け、同機関の支援を受けて実施されるプロジェクトについて直接学ぶとともに、今後も共同作業を強化する余地があることを確認。

(2) 同部長は、IAEA が環境観測所（Observatorio Ambiental）を支援していることから、フェルナンド・ロペス環境大臣とも面会。また、エルサルバドル大学（UES）の海洋毒素研究所（Laboratorio de Toxinas Marinas）を訪問。レンパ川水力発電委員会（CEL）、農牧省（MAG）等では作業会議を行った。

(3) デ・パルマ局長は、「ESCO は IAEA に対する国内連絡窓口という役割を担っている」と発言。

3. 当地進出日系企業 INSINCA 社及び京セラ AVX 社のディーセント・ワーク賞受賞（労働省プレスリリース）

11 月 6 日、エルサルバドル労働省は、第 3 回ディーセント・ワーク賞受賞式を開催、雇用の利益のための優れた取り組みが際立つ 32 企業に対してディーセント・ワーク賞を授与した。うち、当地進出日系企業である京セラ AVX（2 回目の受賞）及び INSINCA 社の 2

社が受賞した。

4. 東部地域における農産物市場の増設（大統領 SNS）

11 月 7 日、ブケレ大統領は、自身の X において、第二期政権の経済計画フェーズ 1「食料」における追加取り組みとして、東部地域における農産物市場 5 カ所の増設を発表し、これで、全国で 55 カ所となった。まもなく全 44 市に開設される。

5. 国債の早期償還（3 回目）及び新規国債の発行

11 月 12 日、米 PR Newswire は、エルサルバドル政府が 2027 年から 2034 年にかけて満期を迎える約 26 億ドルの国債を早期償還すると発表した旨報じた。国債早期償還は、本年 3 回目となる。また、11 月 14 日、政府は本年 2 回目となる新規国債（約 10 億ドル、30 年満期）を発行した。

6. ラ・リベルタ港栈橋の開通式（11 月 21 日付及び 22 日付ディアリオ・エルサルバドル紙及びディアリオ・デ・オイ紙）

(1) 11 月 20 日、中国から 1,800 万ドル以上が投資されたラ・リベルタ港観光用栈橋が開通。これは魚市場、グルメ広場、サンセットパーク（注：中国からの無償資金援助で整備された遊園地）とともにサーフシティ 1（注：ラ・リベルタ県の海岸開発）を構成することとなる。長さ 200 メートルの栈橋には、レストラン、展望台、商業エリア、また家族連れが魚市場で購入したものを食べるスペースが設けられている。

(2) 開通式には、バルデス観光大臣、ミラ外務副大臣、Zhang Yanhui 駐エルサルバドル中国大使が出席。観光大臣は中国の支援に感謝の意を表し、観光用栈橋のレベルの高さを強調。外務副大臣は、今回の栈橋は、両国が相互発展・繁栄というビジョンを共有し良好な関係を維持すること及び国際協力の証であると発言。

(3) 中国大使は、今回のプロジェクトは 2019 年の習近平国家主席とブケレ大統領との合意による重要な成果であり、両国の関係発展への一里塚となったと述べ、ブケレ大統領の治安改善政策と観光分野におけるイニシアティブを称えとともに、また、中国による無償資金援助による新たなエルサルバドル・マーケット・コンベンション・国際センター (Cifco) 建設案が進行中であり、11 月 18 日にエルサルバドル政府がそのデザインを決定したと述べた。

7. Moody's 社による格付評価：Caa1 から B3 への格上げ

11 月 26 日、格付会社 Moody's は、エルサルバドルの信用格付（長期ソブリン格付）を「Caa1」から「B3」に格上げし、見通しは「安定的」とした。これは、外部償却を大幅に削減させた最近の債務管理オペレーションが、返済リスクを大幅に減少させ、短中期的な流動性リスクの緩和につながったことを反映しており、またエルサルバドルが債務の持続可能性のために講じた財政健全化措置による全体の信用プロファイルの更なる強化を予

想するとした。

8. ブケレ大統領による金その他の鉱物採掘に関する発信（11月27日～12月4日大統領SNS）

(1) 11月27日、ブケレ大統領は、自身のXにて、エルサルバドルに評価額3兆ドルを超える金が存在する可能性を示し、金その他の鉱物採掘を再開する意向を発信した。

(2) これに対し、環境保護団体等は、レンパ川を主とする水資源の環境汚染を懸念し強く反対。

(3) これらの反対意見に対し、ブケレ大統領は鉱物採掘を全面禁止する国は唯一エルサルバドルだけであるとし、経済成長だけでなく環境改善・環境保護のための資金源としての採掘の必要性を訴え反論した。また、同大統領は、金のほかりチウム、コバルト、ニッケル、プラチナ、パラジウム、イリジウム、チタン、レニウム、希土類元素等の存在についても言及した。